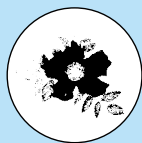
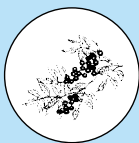


おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第157号

令和元年11月15日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



木彫同好会

第3回町議会定例会 P2～4

遠紋地区市町村議会議員研修会報告 P5

町政ここが聞きたい!! 議員活動報告 ... P6～7

総務社会・産業建設常任委員会合同所管事務調査報告 P8

道内行政視察報告・編集後記 P9～10

令和元年第3回 町議会定例会のあらまし

令和元年第3回定例会は、9月17日(火)開会され、町長の行政報告、議案13件、認定1件、同意2件、報告1件、発議3件、計20案件が審議されました。

町長行政報告

令和元年度興部町

防災訓練

本年度の防災訓練は、北海道防災総合訓練が実施されます10月19日(土)に併せて、北海道と連携して行います。訓練の内容については、地震・津波を想定した住民の避難訓練、支援物資の受入訓練及び自衛隊等による炊き出し訓練などの実施を計画していますので、訓練の詳細が決定次第、広報等により周知を行い、休日ですが多くの町民の方々の参加をお願いします。

JR北海道に対する市町村支援金

北海道から石北本線及び宗谷本線の維持困難線区における定時性や利便性、快適性の向上などの利用促進に資する緊急かつ臨時的な支援内容や、北海道と沿線市町村との負担割合など支援に係る基本的な枠組みに

ついての提案を受け、各沿線協議会等において地域の実情等を勘案しながら調整した結果、令和元年度から2年間は、圏域市町村が一体となつて支援することを決定し、負担すべき経費について、今回補正予算を計上します。

消防緊急車両の過積載

興部支署では、保有車11台中9台が過積載状態にありましたが、適正化を図るために北見運輸局に直接車両を持ち込み、検査のうえ、車検証の車両総重量の数値を実際の重量に書き換える「記載事項変更」を5月から進め8月27日をもって全対象車両の車検証書換え手続きが終了しました。

緊急車両の適法運行は、消防活動の安全性を確保する上で不可欠であることから、今後は、積載資機材が車両総重量以内に収まるよう定期的に総重量を計量するなど車両の適正管理に努めるとともに、法令遵守を

徹底します。

興部町プレミアム付商品券事業の実施

本年10月1日から消費税率の引き上げに伴い、住民税非課税の方や3歳未満の小さな乳幼児のいる子育て世代の方の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的に購入額に25%のプレミアムが付いた商品券の販売を行います。すでに9月2日より住民税非課税の方から購入引換券の交付申請を受け付けていますが、商品券の購入及び使用開始となる10月1日までは、交付申請の必要のない子育て世帯の方々はじめ、全ての対象者に購入引換券を送付します。

なお、商品券の使用期限を来年3月31日までに設定していることから、購入後の使用忘れが無いよう、広報等で十分に周知します。

教育関係

平成30年度から繰越事業であります新中学校舎整備事業については、グラウンド整備などの外構工事が7月2日に完成したことにより、新興部中学校整備に関連する事業の全てが終了し、生徒の通学や学校行事等、教育活動に支障をきたすことなく、使用できる状態となりました。

農作物の作況

本年の1番牧草は、5月中旬から6月上旬にかけて小雨傾向にあったものの、草丈は平年並みとなりましたが、分けつ数が少なく、密度が低くなったため、収量は平年に比べて1～2割程度の減収となりました。

2番牧草につきましては、1番牧草の収穫作業が順調に進み、その後の天候にも恵まれたことから、8月30日現在で平年より10日程早い生育となっています。

また、飼料用トウモロコ

シについても、5月中旬から6月上旬の天候不順による発芽不良の影響を受け、平均で224cmと、平年より16cmほど低く、子実の成熟も3日ほど遅れている状況です。

生乳生産の状況

8月31日現在、3万7千219tで、計画対比98・1%、前年対比98・7%となっています。

林業関係の状況

本年度計画していた造林地の下刈については事業を完了し、間伐・植栽工事については朝日地区の皆伐工事及び沙留地区保安林・富丘地区の植栽工事を随時発注を予定しています。

漁業生産の状況

8月末現在、全体水揚量は1万1千887tで、前年同期比2千559tの増となっています。主な漁獲量については、毛ガニ漁では計画対比56%の34tで、

管内全体で不漁となり、漁獲許容量に到達せずに7月13日に漁を終えています。

ホタテ漁は計画対比97%の1万3千156t、前年同期比2千244tの増です。

また、マス定置網漁は7月18日に水揚げが開始され、前年同期比25t減の116t、サケ定置網漁9月4日より水揚げが開始され、漁獲量及び価格ともに、今後の好漁を期待します。

バイオマス事業に関する新たな取組

大阪大学先導的学際研究機構が開発した、メタンガスを液体のメタノールとギ酸へ変換する技術を用いて、バイオガスからメタノールを製造する技術開発並びに実用化に向けた検討を共同で実施する連携協定を6月26日に締結しました。製造されたメタノールは燃料や化学溶媒として、ギ酸は乳牛の飼料添加物としての利用を図り、FIT制

度による売電に頼らない新たなバイオマス事業の確立に向けて取組ます。

また、西紋別5市町村と湧別町との連携で、環境省所管事業の地域の多様な課題に應える脱炭素型地域づくりモデル事業に応募し、8月16日に採択を受け、地域に賦存するバイオマス資源を活用し、生み出されるエネルギーの地産地消及び脱炭素社会の実現に向けた地域循環共生圏の構築を目指します。

建設工事の発注状況

9月1日現在、土木・水道工事、建築工事とも予定工事は全て発注済みです。

一般会計補正予算(第4号)

補正額は7千424万円を追加し、総額48億8千496万7千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○プレミアム付商品券取次

事業者交付金

400万円増

○興部町酪農業振興支援事業奨励補助金

300万円増

○北オホーツク農業協同組合出資型生産法人出資金

500万円増

○エネルギー地産地消事業化モデル支援業務委託料

2千602万円増

○総合センター修繕料

100万円増

○過年度過誤納還付金

718万円増

特別会計補正予算

特別会計3会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

○興部町国民健康保険事業特別会計補正予算

(第2号)

補正額は337万円を追加し、総額5億9千754万円とした。

補正内容は、興部町データヘルス計画策定業務委託料等の増額等。

○興部町介護保険事業特別

議会の動き

令和元年8月9日以降

8月14日 魚霊祭・海上遭難者供養及び灯籠流し

19日 興部高等学校間口対策協議会

19日 北海道議長会広報研修会

27日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会

31日 遠紋地区市町村議会議長会・パークゴルフ大会

9月1日 北海道女性議員協議会総会

5日 議会全員協議会

11日 議会運営委員会

12日 興部町敬老会

17日 第3回議会定例会(1日目)

議会広報特別委員会

補正内容は、興部町データヘルス計画策定業務委託料等の増額等。

18日 決算審査特別委員会

20日 議会運営委員会

会計補正予算

(第3号)

補正額は、540万円を追加し、総額3億863万円とした。

補正内容は、平成30年度介護給付費等の確定に伴う諸返還金の増額等。

○興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、280万円を追加し、総額2億7千194万円とした。

補正内容は、配水管等修繕料の増額。

制定・改正された条例

○興部町合葬墓条例の制定

○興部町酪農振興支援条例の制定

○興部町森林振興基金条例の制定

○興部町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

○興部町税条例の一部を改正する条例

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

する条例の一部を改正する条例

○興部町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例

○興部町公共下水道条例の一部を改正する条例

○興部町国民健康保険病院使用料手数料条例の一部を改正する条例

報告された案件

○平成30年度普通会計等財政健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告

興部町監査委員の選任

任期満了に伴い、再度、吉川澄雄氏を選任同意した。

興部町教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、再度、小野優太氏を任命同意した。

意見書の採択

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充

実・強化を求める意見書

提出者 前田 義雄議員

賛成者 阿部 昭一議員

賛成者 竹内 清議員

賛成者 藤渡 昭博議員

賛成者 鈴木 精一議員

・森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定を図る。更に森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること

を求める意見書を提出。

○介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 矢野 幸三議員

・介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するた

めに、全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金(「特定最低賃金」)を新設することを求める意見書を提出。

○看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

提出者 小泉 優子議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 矢野 幸三議員

めに、全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金(「特定最低賃金」)を新設することを求める意見書を提出。

○看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

提出者 小泉 優子議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

・看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用地域とした看護師の最低賃金(「特定最低賃金」)を新設することを求める意見書を提出。

提出者 小泉 優子議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

・看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用地域とした看護師の最低賃金(「特定最低賃金」)を新設することを求める意見書を提出。

提出者 小泉 優子議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 矢野 幸三議員

・介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するた

第3回議会定例会(4日目)

議会改革特別委員会

遠紋地区町村議会議長会事務局

長事務研修会

27日 広域紋別病院企業団議会定例会

10月 14日 オホーツク町村議会議長会遠紋ブロック府県行政調査委託

5日 札幌おこっぺ故里会

6日 牛乳の里マラソン大会

8日 合同常任委員会道内行政視察

11日 陸別町議会行政視察来町

13日 興部中学校学校祭

15日 北海道議長会議会事務研究会

18日 北海道植樹の日・育樹の日制定記念北海道木育フェスタ2019植樹

令和元年度

遠紋地区市町村議会議員研修会報告

7月24日紋別市に於いて

遠紋地区市町村議会議員研修会が開かれ、網走地方気象台防災気象官、谷内一弘氏による『最近の防災事情について』をテーマに講演が行われました。

講演では「北海道の被害は長雨によるものであるが、今後は短時間大雨降雨による被害が想定される。オホーツクは今まであまり災害の経験がないことから、想像力を働かせて防災意識を高めることが課題である。

大雨による災害は、浸水・土砂・洪水であり、各々形態が違い避難するタイミングも違うので、自分たちの地域でどの災害が起きやすいのか等、地形を見て良く話し合うことが大切

である。

気象庁等の出す防災気象情報（注意報、警報、特別警報）に基づき、市町村は水害・土砂災害について避難情報（5段階レベル）を発令するが、地域住民は気象庁等が出した情報から、予め避難準備が出来る体制が整備されたので再認識して欲しい。」とのことでした。

この講演後、台風15号や19号が日本列島を襲いました。特に19号は、歴史上まれにみるスピードで発達、暴風域直径650kmと超巨大台風となりました。上陸後、流域型洪水を引き起し、各自治体から避難情報が発令。各地で洪水・土砂災害で避難の遅れもあり、死亡行方不明者90余名。堤

防決壊は7県60余河川、土石流や崖崩れ等の土砂災害は19都県、床上床下浸水・住宅全半壊などの甚大な被害が起きました。

地球温暖化によって【千年に一度】の豪雨等に備える新たな災害の時代となり、今回の講演での提案を受け、町はもとより各集落に於いても話し合いの重要性を認識し、防災行動に生かさなければならぬとの思いを強くしました。



（記：広報特別委員会
委員長 鈴木 精一）

祭・育樹祭

21日 乳牛感謝祭並びに牛馬祭

25日 議会広報特別委員会

30日 31日 オホーツク圏活性化期成会北海道要望（秋季）

11月1日 議会広報特別委員会

3日 功労者表彰式

5日 7日 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会中央要望（秋季）

12月14日 「全国町村議会議長会創立70周年記念式典」及び「第63回町村議会議長全国大会」

町政ここが聞きたい!!

問

町内交通弱者に対する移動支援について

小泉 優子 議員

答

高齢者の通院・買物に不便のないよう応援していきたい

碓 一寿 町長



小泉議員

我国は子どもの出生率は上がりませんが、100歳以上の高齢者が7万人を超え、人生100年の時代となりました。

高齢者となり足腰が弱くなり、痛みが出て思うように行動できない人、免許返納を考へても通院・買物等の不便を思うと返納できない人、バスの利用を考へてもバス停までの距離があり歩行が苦痛な人、さらには歩行困難な人に対し町として支援を考へていただきました。

碓町長

町内70歳以上の方が970人、高齢化率は減る傾向ではなく、興部町では100歳以上の方は1名であります。町の人口の4分の1を超える高齢者の生活は非常に重要であります。高齢者環境は介護だけでなく生活そのものの環境をいかに守るか、興部町で安心して人生を終焉できるか、行政として一番の責任であると感じています。

小泉議員

昨年4月より新しくハイヤー事業者の参入があり住民は利用しやすくなりましたが、ハイヤーでの通院・買物には片道は利用しても往復は年金生活者には負担が大きすぎるので難しい。市街地での高齢者は今年4月現在で786名、不便を訴える高齢者が市街地で多く聞くようにな

りました。私は、デマンドバスもハイヤーの助成も必要と考えますがいかがお考へでしょうか。

碓町長

町内で病院から遠い所、買物したいが商店から遠い地域へバス運行の要望は聞いています。デマンドバス運行を一時検討しましたが、私は現状の医療送迎などで新たなルートを町内に設け、来年から試験的に導入していきたいと考えています。一年前より新しいハイヤー会社ができて病院、駅前には車を配置し、多くの人の利用がありますが、現実には料金が高いこともあり頻繁には使えないことも承知しています。方法は今、検討中であり。民間にバスの送迎を委託しておりますので会社との協議もしていきます。高齢者に対する支援、ハイヤー等が利用しやすいよう検討したいと考えています。

平成30年度 各会計歳入歳出決算認定

平成30年度興部町各会計決算認定は、議員全員による決算審査特別委員会が設置され、委員長に前田義雄委員、副委員長に阿部昭一委員を選出した。同委員会は、9月17日、18日の二日間にわたり全体会議方式で詳細に審査を行い、採決の結果、原案どおり認定した。

小泉議員

昨年4月より

参入のハイヤー事業者は
国保病院前にハイヤーを
待機しております。患者
さんはとても心強く便利

であるとは好評ですが、ハ
イヤー事業者側からみま
すと昨年4月からのこの
運営内容は、事業者とし
ては、今後も継続運営す
るにはとても厳しい状況
にあり、利用者の増加が
必須であるようです。

碓町長

民間ハイヤー

事業のお話しがありまし
たが、町内、様々な商工
業におきましても民間力だ
けではできないことが

多々あります。事業は民
間で進めていただき、行
政が応援することが一番
いいと思います。人口の
少ない地域では自治体が
全て運営しなければなら
ない例もありますが極
力、民間の力で運営して
いただき、行政は応援し
たいと考えています。

高齢者が楽に通院・買物
へ行けるように、そのよ

うな取り組みを応援して
くれる企業が安定した経
営が行えるよう行政の立
場から考えたい。

小泉議員

町内にハイヤ

ーが無くては、住民は大
変不便であり、自宅内
では行動できていても外出
は難しい人は今後多くな
ると思いますし、免許返
納しても安心して生活が
できる、町民の健康寿命
の延長、在宅生活の保持
のため住民の足の確保を
ぜひ考えていただきたい
と思います。

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

9月5日協議会を開催し
理事者及び所管課から説明
を受け、質疑を行った。

9月5日

○興部町合葬墓条例の制定
について

○幼保一体化の推進について

○JR北海道に対する市町
村支援金について

・宗谷本線活性化推進協
議会について

・オホーツク圏活性化期
成会石北本線部会につ
いて

○データヘルス計画（保健事
業の実施計画）について

○興部町森林振興基金条例
の制定について

○興部町酪農業振興支援条
例の制定について

議会運営委員会

委員長 竹内 清

9月11、20日委員会を開
催し次の事項について審議
した。

9月11日

○令和元年度第3回議会定
例会について

9月20日

○令和元年度第3回議会定
例会について

議会改革特別委員会

委員長 佐藤 吉春

9月20日委員会を開催し
次の事項について協議した。

9月20日

○議会改革特別委員会の進
め方について

総務社会・産業建設常任委員会

合同所管事務調査(町内公共施設現地調査)報告

7月29日総務社会・産業建設常任委員会合同で「町内公共施設」の現地調査を行いました。

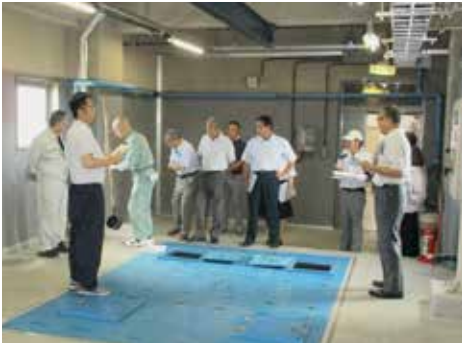
議会選挙後の最初の所管事務調査として実施している議会活動です。

① 沙留漁船上架施設

沙留漁協の上架施設の特徴は従来のリフト式上架施設から、ホイスト式という「バンド」で漁船を吊り上げる先進的な施設で、塩害による錆対策コストの大幅削減と上下架作業効率向上に成果を上げています。ちなみに夜間はシンボルカラー、虹の七色でライトアップをしています。

② 住吉浄水場・取水施設

平成22年認可され、事業費8億1千万円で整備。町としては新しい浄水施設で主に住吉・富丘地区に給水



しています。最近、水道事業の広域化、民営化等々の問題提起がなされていますが、我町の産業構造から必要な『水』問題です。

③ 沙留下水終末処理場

沙留地区は平成5年より污水管渠の整備を始め、同6年より処理場の整備、沙留地区691人の下水処理を行っているが、施設の老朽化に伴い更新が必要。今年度計画を策定し進めます。

④ 興部中学校の外構

興部中学校の解体と外構工事が終了。約3億7千万円の事業費で、アプローチ通路、駐車スペース、グラウンド等の各施設整備が終わりました。



⑤ 興部火葬場・墓地

火葬の実績が平成24年頃より減少し、ここ3年は年間20数体です。使用実績の減の原因は紋別市で行われる葬儀件数に関係しているのではないかと。同じく墓地も新規使用が一件程度、返

還件数が十件に迫っています。墓じまいが増えている事ではないかと。今年、合葬墓を整備、来年4月より埋蔵を始める予定で関係条例を制定しました。

⑥ 福祉保健総合センター

「きらり」の三つの機能、保健センター・デイサービス・生活支援ハウスの施設運営、利用状況及び今後の予定等について調査をしました。特に生活支援ハウスの利用状況は16室中、14室で16名が入居しています。(7月23日現在)



現在は社会福祉協議会に指定管理委託で運営しています。他に社協でデイサービス事業を指定管理制度で運営しています。

⑦ 興部町高齢者下宿・興部町老人福祉センター

利用状況は11室で11名が入居しています。

興部町老人福祉センターでは、認知症対応型通所介護、通所型サービスC型等の事業を行っています。

⑧ 興部北興バイオガスプラント

平成29年より運営されており、近年全国から視察研修もあり、来る10月には鈴木知事も訪れる予定です。今後は大阪大学と連携し、バイオガスをメタノールとギ酸に変換する実証実験を行い、5年以内を目途に産業化をめざす予定です。

(記：総務社会常任委員会

委員長 前田 義雄)



道内行政視察報告

鹿追町「鹿追町環境保全センター」について行政視察報告



興部北興バイオガスプラントが完成し、平成28年11月から稼働。今後は、大阪大学の研究グループが開発したメタンガスを液体燃料のメタノールとギ酸へ変換する技術と実用化研究を行うための連携協定により、発酵槽を増設し、バイオガスの増量を図り、増量したバイオガスからの生産プラ



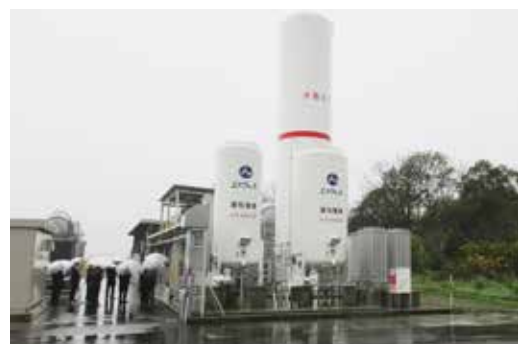
ントを予定しています。そこで出る余熱の有効利用についても考えていきたいと、バイオガスプラントにおいて、多角的利用の最先端を行っています鹿追町環境保全センターを10月8日に視察してきました。この環境保全センターではバイオガスから発電・消化液はもちろん、水素を精

製し水素自動車（現在、町で1台所有700万円）・FCフォークリフト（現在センターで所有1台1千万円）の燃料として使用し、さらに、水素燃料電池・そしてボンベに充填された水素ガスはプロパンガスの代

替え燃料として公共施設で使用されています。さらに、実用化に向けて実験を行っているところです。また、余剰熱の利用についても盛んで、チョウザメの飼

育をしてキャビアと食肉用（出荷まで8年くらいかかる）として生産しています。余剰熱、雪氷熱を活用したビニールハウスを設置して、マンゴーの栽培を行い、出荷時期は11月から12月に、東京のデパートに出荷しているとのこと。その他ハウス内での新規作物などの栽培研究で、イチゴ・サツマイモの栽培をしています。特に、サツマイモの長期保存の温度と湿度を調整するために、余剰熱を利用し、町内で加工して「干し芋」として販売しています。

このように興部町におい



ても、今後バイオガスプラントから出される余剰熱等の副産物をいかに有効利用し、活用していきたいかを検討していきたいと思っています。

（記…産業建設常任委員会 委員長 阿部 昭二）

本別町「幼保連携型認定子ども園」行政視察報告

10月8日、9日で興部町議会合同常任委員会行政視察を行いました。総務社会常任委員会では9日、本別町の幼保連携型認定子ども園を視察致しました。

本別町は、人口6千956人で高齢化率は41%であり、豆類の生産が盛んな町です。

認定子ども園とは幼稚園と保育所の機能や特徴を合

わせ持ち、就学前教育の一体的な提供を行う施設であり、発達段階に応じた教育、保育を実施します。本別町は公設保育所4か所と民間のカトリック幼稚園がありましたが市街地にある公設の2か所の保育所と民間の幼稚園が協定を結び、



平成29年4月より民設民営の幼保連携型認定子ども園として開設されました。園児数は140名でスタートし、2年半が経過しています。又、2か所のへき地保育所は町営のままとなっています。

認定子ども園の施設整備には約9億円がかかっています。施設はとても明るく、設備も充実しています。が、物品庫が当初は多く作ったはずだったのですが実際に運営してみると不足していることです。病児保育も考えられ、看護師を配置しています。認定子ども園への職員移行には、正職員は町営の保育所へ移動し、準職員、臨時職員、パート職員は認定子ども園へ正職員として19名採用されています。

認定子ども園は園長を含め48名の職員となっています。給食費は全額、町が負担し、園への送迎は保護者が行っています。

就学前子ども放課後児童の健全育成事業、乳児家庭全戸訪問事業、療育支援訪問事業、子ども守る、地域ネットワーク



ク機能強化事業等は町直営となっています。

興部町でも興部保育所とはまなす幼稚園が幼保一体化として認定子ども園の整備を考えています。少子化時代であり、子供の将来を考え健やかに成長できる就学前教育、保育を考えていきたいと思っています。

(記…総務社会常任委員会
副委員長 小泉 優子)

編集後記

近年、天災による災害が頻発しています。10月12日の台風19号は100年に一度の大型台風といわれ、稀に見る災害を各地に起こし、全国71ヶ所で100数十ヶ所の堤防の決壊、11県で81人の死亡者が出たと言います。千葉県においては、15号台風に続きその傷が癒えぬ間に追い打ちとなり、19号で被災を受けた各地に、1週間と経たぬ間に台風20号の追い打ちとなりました。大変心の痛むこの災害に、国も激甚災害の指定を適用し対応を図るとしています。1日も早い支援を願っています。

しかし、そんな日本に、ラグビーワールドカップで全日本の勇者がベスト8に入る大快挙を成し遂げました。日本全国民、そして特に災害に合われた各地の人々に対しても、「感動と、勇気と、生きる力、あ

きらめかない心」を教えてくださいました。

また、10月22日には、パレードこそ延期になりましたが「天皇陛下即位礼正殿の儀」が粛々と執り行われ、日本中がお祝いをし、被災地の人々にも心休まる一瞬だったと思います。

世界各地で天災が起り、災害が発生している現状に、それに対する備えは、ハード面には限界が生じ、根本から見直さなければならぬ時代に入り、想定にない対応を求められ、我々、個々人も、災害に対する考え方を今一度改める必要を感じています。

(記…広報特別委員会)

委員 佐藤 吉春

広報委員長 鈴木 精一

副委員長 藤渡 昭博

委員 佐藤 吉春

委員 阿部 昭一

委員 竹内 清

議会事務局局長 齊藤 英之

議会事務局事務補 佐藤 麗華